

平成 27 年度 発達障害の可能性のある児童生徒等に対する早期・継続支援事業  
 (発達障害早期支援研究事業)  
 成果報告書 (概要版)

実施機関名 ( 香川県教育委員会 )

1. テーマ

特別支援教育の視点を取り入れた授業づくり  
 ～一人一人の教育的ニーズに応じた個別的な支援・配慮の在り方について～

2. 問題意識・提案背景

平成 26 年度の指定校研究において、主に、通常の学級におけるどの子にとっても「分かる」「できる」授業の工夫について、発達障害支援アドバイザーの助言による授業づくりを行った。そして、視点に沿って有効であった指導・支援について整理し、事例集を作成・配付することで、県内の学校へ研究成果を普及することができた。反面、集団学習の中での個別的な配慮や放課後等に取り出している個別指導においては、十分に進んでいない現状にある。また、教職員の気付きから指導・支援につながるまでの校内支援体制においても、学校間における格差があるのが現状である。

そこで、発達障害支援アドバイザーを地域の特別支援学校相談センターに配置して、地域のセンター的機能の一環として専門的立場から助言を行い、平成 26 年度の研究成果を基に、通常の学級における集団の中での個別的な配慮や放課後補充指導等の個別指導の在り方について研究を深めていくこととした。

3. 指定校について

平成 27 年 5 月 1 日現在

指定校名：東かがわ市立白鳥小学校												
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
通常の学級	17	1	28	1	19	1	41	2	22	1	23	1
特別支援学級	0		1		0		0		1		1	
通級による指導の対象者数	0		0		0		0		0		0	
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育支援員	スクールカウンセラー	その他	計	
教職員数	1	1	11	1	1	0	2	4	0	0	21	

指定校名：高松市立香東中学校						
	第1学年		第2学年		第3学年	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
通常の学級	266	8	223	6	227	6
特別支援学級	1		2		4	

通級による指導の対象者数	0				0				0		
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育支援員	スクールカウンセラー	その他	計
教職員数	1	2	33	1	7	1	2	1	1	1	50

指定校名：琴平町立琴平中学校											
	第1学年			第2学年			第3学年				
	生徒数	学級数		生徒数	学級数		生徒数	学級数			
通常の学級	58	2		75	2		73	2			
特別支援学級	4			1			0				
通級による指導の対象者数	0				0				0		
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育支援員	スクールカウンセラー	その他	計
教職員数	1	2	19	1	1	1	1	1	1	1	29

指定校名：観音寺市立観音寺中学校											
	第1学年			第2学年			第3学年				
	生徒数	学級数		生徒数	学級数		生徒数	学級数			
通常の学級	120	4		113	4		121	4			
特別支援学級	4			1			4				
通級による指導の対象者数	0				0				0		
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育支援員	スクールカウンセラー	その他	計
教職員数	1	2	25	1	4	1	2	3	1	2	42

#### 4. 指定校における取組概要

<p>1 目的・目標</p> <p>通常の学級における発達障害の可能性のある児童生徒に対して、集団の中での個別的な配慮や放課後等に取り出しての個別指導の在り方について実践研究を行い、有効である指導の方法や支援・配慮の在り方について明らかにする。</p> <p>2 学習面や行動面で何らかの困難を示す児童生徒の明確化</p> <p>(1) 「実態把握チェックシート」(県教育委員会作成)による実態把握の実施</p> <p>(2) 早期の気付きから計画的な指導・支援へつなぐためのシステムの構築</p> <p>3 学習面や行動面で何らかの困難を示す児童生徒に対する支援内容</p> <p>(1) 一斉授業における指導方法の工夫内容</p> <p>「特別支援教育の視点を取り入れた授業自己チェックリスト」(県教育委員会作成)、「授業参観シート」(指定校作成)を活用した授業改善</p> <p>発達障害支援アドバイザー4名を、研究指定校にそれぞれ1人、週2日程度派遣し、どの子にも「分かる」「できる」授業づくりの観点で授業を参観し、それをもとに授業者に助言を行うことで改善を図った。</p>
---

(2) 連続性のある多様な学びの場を活用した、集団の中での個別的な指導や配慮の工夫内容

- ・通常の学級での担任による配慮（座席の配慮、拡大文字、ルビふり等）
- ・指導形態の工夫による指導（少人数指導、複数教員による指導等）

研究指定校で実施している多様な学びの場を活用した個別的な指導や配慮の工夫について、発達障害支援アドバイザー連絡会で検討し、有効であった方法についてまとめた。

(3) 連続性のある多様な学びの場を活用した、放課後補充指導等の個別の指導における指導方法の工夫内容

- ・特別支援学級の活用による指導（特別支援学級の弾力的運用等）
- ・個のニーズに応じた個別指導（放課後等個別指導、通級による指導等）

研究指定校で実施している多様な学びの場を活用した個別的な指導や配慮の工夫について、発達障害支援アドバイザー連絡会で検討し、有効であった方法についてまとめた。

4 学習面や行動面で何らかの困難を示す児童生徒に対する支援内容の妥当性の評価手法

(1) 「実態把握チェックシート集計表」（指定校作成）の活用による評価

一定期間の指導後に再度実態把握を実施して集計表に記録し、1回目との比較により、その変容を評価する。

(2) 「個別の指導計画」の活用による評価

指導目標を明確にした上で、具体的な手立てを明記し、定期的な評価を行う。

## 5. 主な成果

1 通常の学級における集団の中での個別的な配慮や個別指導の在り方

小・中学校指定校4校での取組をもとに、通常の学級における集団の中での個別的な配慮や個別指導の在り方について検討した。そして、連続性のある多様な学びの場を活用した個別的な指導や配慮の工夫について、指定校での実践において有効であった指導・支援についてまとめ、事例集及び校内研修資料「特別支援教育の視点を取り入れた授業づくり～一人一人の教育的ニーズに応じた指導や配慮の工夫～」を作成し、県内の各学校へ配付し、成果を広げることができた。

2 早期の気付きから計画的な指導・支援へつなぐためのシステムの構築

「実態把握チェックシート」（県教育委員会作成）を活用することで、早期の気付きにつながった。また、気付きを計画的な指導・支援につなぐために、①実態把握の実施、②校内委員会の開催、③「個別の指導計画」の作成、④指導の実施、⑤評価という流れをまとめて、事例集の中で示すことができた。

3 教職員の意識の変容

研究指定校の教員を対象に、年度の始めと終わりに、「特別な教育的支援を必要とする児童生徒への支援に関する教職員の意識調査」を実施した。1回目の調査から教員の意識は高く、実践に取り入れている教員が多かった。2回目の調査では、1回目に比較して大きな意識の変化はみられなかったが、特に若

年教員の記述等から、本事業で発達障害支援アドバイザーから学んだことは多く、さらなる意識の高まりがみられた。

## 6. 今後の課題と対応

### 1 各学校における連続性のある多様な学びの場の整備

通常の学級の集団の中での個別的な配慮や放課後等の個別指導の実施においては、まだまだ学校間の差が大きい。指定校での実践では、特別支援学級の弾力的運用や放課後個別指導で効果がみられており、必要性を感じている教員も多いことが分かった。しかし、校内の教員が空き時間を使つての指導になるなど校内資源を使つての実施であり、毎年校内の状況は変わるため、必要性は感じるが実施は難しいというのが現状である。また、学校現場では、発達障害だけでなく、知的に境界線の児童生徒も含め、学習面に遅れのある児童生徒への指導に困難を感じており、喫緊の課題となっている。

今後、各学校においては、特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対して、誰が、どの場で、どのような指導をするのかを明確にし、活用できる学びの場を検討し、整備する必要がある。また、県や市町においても、通級による指導の整備や人的配置等の基礎的な環境整備を進める必要がある。

### 2 「気付き」から「指導・支援」につなぐまでのシステムの構築

「実態把握チェックシート」（県教育委員会作成）による実態把握はこれまでも実施してきたが、特別な支援を必要とする児童生徒の人数や割合等、状況把握に終わる傾向があった。本事業で、気付きを計画的な指導・支援につなぐための流れについて検討してまとめた。今後、各学校での定着を図るために、県教育委員会が、リーフレット等の作成による普及を図っていく。

## 7. 問い合わせ先

組織名：香川県

- |             |                          |
|-------------|--------------------------|
| (1) 担当部署    | 香川県教育委員会事務局特別支援教育課       |
| (2) 所在地     | 香川県高松市天神前6番1号            |
| (3) 電話番号    | 087-832-3757             |
| (4) FAX 番号  | 087-806-0232             |
| (5) メールアドレス | ak1394@pref.kagawa.lg.jp |